



大妻多摩中学校

二〇一八(平成30)年度

入学試験問題(第三回)

【国語】

時間 50分

2月4日(日)

【注意事項】

- 1 問題は12ページまであります。
- 2 指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 3 答えはすべて、問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 句読点やカギカッコは一字と数えてください。
- 5 ページが抜けていたり、印刷が見えにくい場合には、手をあげて知らせてください。

一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、本文中の表記は原文のままにしています。字数制限のある問題は、句読点やカギカッコも一字と数えること。

宇宙論から撤退して科学・技術・社会論に軸足を移した私だが、三〇年以上も宇宙論研究に没頭してきただけに、① 何がしかのことは書き残しておきたい気になって、『観測的宇宙論への誘い』と題する本を執筆することにした。研究の楽しみとともに、論争となっている諸課題について私なりの感想を記して後世の判断に委ねようとの思いからであった(それほど大きなものではないけれど)。原稿を書き上げて編集者に渡した直後に、「これを紙の本と同時に電子出版にはどうでしょうか」と持ちかけられた。考えてもいかなかった思いがけない申し出なので、注1躊躇していたら、追いかけて「宇宙に関する本には沢山のきれいな天体写真を使うことになるので、電子版の方が素晴らしい画像が使えて迫力が出ますよ」と言われる。私は、「本の体裁が決まってから判断しましょう」と言って、注2お茶を濁さざるを得なかった。

そもそも人間は有機物でできている。有機物とはカーボン(炭素)を主体とした化合物だから、③。紙もカーボンであり、本は紙に限るのである。その上、人間はアナログで物事を認識している。ある重要な事柄が何ページの何行目に書いてあったと覚えているのではなく、本の三分の二辺りのページのどこから三分の一くらいのところにあつたと記憶してページを繰り直すのが常であり、それを採し当てるのが楽しみなのである。ときには、線を引いたり片隅を折畳んだりして目印にし、その部分だけを繰っては何度も読み返したりもする。そうすると妙に愛着が生まれて言葉が頭に染みこむというものである。

だから私は、シリコン製の電子画面とは性が合わない。辞書とか百科事典のような、その場限りの知識を得るには電子書籍は便利だが、考えたり想像したりしながらページを繰り、後戻りしたり飛ばし読みしたりしてから元に戻ってくる、というような読み方には電子本は不都合の上ないからだ。何しろシリコンは石頭だから融通が利かないこと夥しく、インターネットをしていても注2癩癩を起こして放り出す始末である。だから、カーボン人間はシリコンとは折り合えない、電子出版なんて文化を貶めるもの、

と考えてきたのだ。

しかし、実際に電子出版を勧められると、^④少々動揺した。私の本はそう売れるわけでもないし、ましてや宇宙論の硬い本だから売れ行きが悪いのは目に見えている。この出版不況の時代に出版社は慈善事業じぜんをしているようなものである。手軽に電子出版ができるなら、出版社の^⑤を少しは立てられるかもしれない(私は出版社に対しては優しい人間なのである)。きれいな写真を売り物にした本ではなく、書いている中身で勝負のつもりなのだが、写真が目を惹ひいて電子本を手取る人がいればファンが少しは増えるかもしれない(本が売れて欲しいという色気もあるのだ)。というわけで、今どうしようかと悩んでいる最中である。

子どもの理科離れが話題になっているが、その根源には実は大人の理科離れがある。科学は難しく取っつきにくいのがその理由だが、それだけではない。科学は専門家にお任せして、その成果を利用するだけで満足している大人ばかりになったためだ。科学に無関心の大人であっても、ちよつと振り向いてもらいたい、そんな思いで本を書こうという気になる。ならば、電子書籍という形ではあっても、科学に近づく人間が増えればいいことではないか。また科学の本には一般の文芸作品や論説本とは違った側面があるのではないかとつらつら考えてみた。

文学の作品はこれ一つしかないという意味で^⑥だが、科学の本はその知見が次々と書き換えられていく運命にある。科学は積み上げで成り立っており、先人の仕事を乗り越えつつ、時代に制約された実験技術の下でとりあえずの結論を提示するしかないからだ。その意味で本の寿命は短く、たった数年前の出版なのに入手できなくなってしまう。^⑦、私の本などは一年も経たないうちに店頭から姿を消すのが普通で、空しく裁断されて煙となつていのだろうか。そう思えば紙の本であることに、少なからざる

^⑧罪の意識が生じる。単なる資源の浪費ではないか、と。電子書籍であれば、ほんの少しのシリコンを占領するだけで済むばかりでなく、時間を超えて保存してくれるから空しさも帳消しになるかもしれない。記録媒体ばいたいとしての電子書籍は評価すべきなのだろう。

たまに古典と言われる科学の本も存在する。例えば、アインシュタインとインフェルトが書いた『物理学はいかに創られたか』(岩波新書)は七〇年を経てもなお読み継つがれている。簡明にして真髓しんずいをつき、図版は少しだけだが含蓄がんちくに富む。ページを何度も行き来するうちに理解が深まり、いつ手にとっても新しい発見がある。^⑨もはや黄ばんでしまった紙がいつそう私を招いているように見え

る。あるいは、学生時代に読んだ教科書は、そこに残された書き込みもあって苦闘した歴史が懐かしく思い出され、新鮮な気持を蘇らせてくれる効用がある。歴史を経た紙の本であればこそ、科学の古典として自分と重ね合わせることもできるのだ。それは科学者の誰もが体験することであり、鮮烈な印象となって心に刻み込まれ、アナログ的に内容が頭の書庫に並べられることになる。学問の継承にはこのような体験が不可欠である。これらが電子書籍となれば、果たして学問が血肉化するかどうか疑問を持つてしまおう。

とすると、記録媒体としての電子書籍(やたらに記憶が得意なシリコン頭にうってつけである)、自分の頭を鍛えるための紙の本(考え想像するカーボン頭に最も相応しい)という棲み分けができそうである。というより、それが必然の道のように思える。豆粒一つに百科事典全体が収まるような技術を利用しない手はないし、それこそが省資源となり文化の継承を確実なものとするからだ。辞書、辞典、読み捨て本、ノウハウ本などは電子書籍で十分その役を果たすだろう。それに対し、絵本、教科書、古典、哲学書などは紙の本であり続けるに違いない。むしろ始めは両方で出版し、生き残ったものだけが紙の本として継続されることになると考えられる。過渡期に本の選別が進むのである。そして二〇年先となれば、本の出版は様変わりしていることだろう。電子出版が当たり前となるのに対し(それは大事な本ではないことを意味する)、紙の本として出版できることが勲章となることだ。「せっかく価値ある本なのだから、是非とも紙の本として出版したい」と出版社が言ってくれるのを心待ちにする、なんてことを想像している。

少々皮肉っぽくなったが、新書戦争とやらで、どんな本が出ているかさえわからなくなったご時世となって、本の選別が不可能になりつつあるのは事実である。「悪貨は良貨を 注3 駆逐する」のと同じ現象が生じ、むしろ出版界が自分の足を引っ張り合って共倒れの運命を歩んでいる気がする。それを是正する契機として電子出版が利用できれば、と思うのだ。思い切って電子書籍を専門とし、評判となったものを紙の本とするというふうに逆転させれば、本の概念も変わるのではないだろうか。

とはいえ、記録媒体としての電子出版について心配することがある。⑩ 大きな録音デッキで磁気テープのリールを使っていたのがカセットテープになりCDとなったように、あるいはビデオテープがDVDになりブルーレイになっていくように、技術の進展はめざましいものがある。その結果、今時の装置は二〇年もすると使えなくなり、せっかくの記録媒体も ⑪ 無用の長物となりかねない。⑫ ITが栄えて、情報の記録が欠落していくのだ。その点、紙に書かれた記録が千年の歴史を刻んでいることを思えば、紙のた

くましさとしぶとさを感じざるを得ない。やはり人間は紙とともに歩んできたし、知らず知らずのうちに紙を大事にする習性を身につけてきたのである。それはシリコン全盛時代になっても変わらないのではないかと思う。

(池内了「本の棲み分け」『本は、これから』(岩波新書))

注1 躊躇……あれこれと迷って決心がつかないこと。

注2 痲癩……感情をおさえきれずに、発作的に興奮して怒りを表すこと。

注3 駆逐……追い払うこと。

問1

①・⑦・⑩に入れるのに最も適切なものを、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えなさい。

ただし、同じ記号を二度以上使用しないこと。

ア かつて イ やはり ウ いかにも エ ぜんぜん オ ましてや

問2

——線部②「お茶を濁さざるを得なかった」、⑩「無用の長物」の意味として最も適切なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えなさい。

② 「お茶を濁さざるを得なかった」

ア 断るしかなかった イ ごまかすしかなかった

ウ 話題を変えるしかなかった エ やんわりと返答するしかなかった

⑩ 「無用の長物」

ア めったやたらに長いもの イ 急に様変わりするもの

ウ あるとかえって邪魔になるもの エ 全く役割を果たせないもの

問3 ③ にあてはまる言葉を、「相性^{あいしやう}」という語を必ず使って十五字以内で答えなさい。

問4 — 線部④「少々動揺した」とありますが、そのようになったのはなぜですか。その理由として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 本の売れない時代に売れる可能性を持った電子出版を編集者から提示されたから。

イ きれいな写真を売り物にした本を売ることに対してかねてから抵抗感を覚えていたから。

ウ インターネットが嫌で放り出してしまう人間だと知らずに編集者が電子出版を勧めてきたから。

エ 電子書籍の短所がわかっていながらもかわらず、それに頼らざるを得ない自分に電子出版の話が来たから。

問5 「⑤」を少しは立てられる」とありますが、⑤には身体の一部を表す漢字が入ります。その漢字を一字で答えなさい。

問6 ⑥に入れるのに最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 永遠 イ 流動 ウ 多様 エ 超越

問7 — 線部⑧「罪の意識」とありますが、なぜ「罪の意識」が生じるのですか。その理由を、本文中の語句を用いて七十字以内で答えなさい。

問8 — 線部⑨「もはや黄ばんでしまった紙がいつそう私を招いているように見える」とありますが、この一文の中で使われている表現技法を何と言いますか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 反復 イ 擬人法^{ぎじんぽう} ウ 倒置法 エ 体言止め

問9

——線部⑫「ITが栄えて」とはここではどういうことですか。本文中の語句を用いて具体的に八十字以内で答えなさい。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、本文中の表記は原文のままにしてあります。字数制限のある問題は、句読点やカギカッコも一字と数えること。

いまから十三年前、私は友人と二人して、ある私立大学を受験するため上京した。というより、上京するため確かに東京行きの列車に乗ったのである。世の受験生と同様、私たちもまた幾分の不安と心細さを抱いて、窓外の景色を眺めていた。そんな気持ちと和めようとして、自然に口数だけは多くなっていった。ところが、京都から乗り込んできたひとりの女子高生が私たちの隣の席に座ったことで、様相は一変した。滅多にお目にかかれないほどの美人だったからである。私も友人も何となく態度が落ちつかなくなり、口数も減っていった。友人が意を決してその女子高生に話しかけたのは静岡を過ぎてからであった。

彼女は京都の大学を受験して、伊豆の大仁に帰る途中だった。友人は ② 私に耳打ちした。

「伊豆の踊り子やなア」

なぜ踊り子なのか判らなかつたが、私は、うんうんとうなずき返した。彼女も ③ うちとけてきて、三人が無事に受験に成功したら、再びどこかで逢つてお祝いしようなどと言いだした。そして私たちの心を ④ 乱したまま、艶然たる微笑を残して三島で降りてしまった。つた。

「俺、もう東京の大学なんかやめにして、京都の大学を受けよかなア……」

と ⑤ まんざら冗談でもなさそうに友人は呟いた。

「俺もさつきから考えてたんやけど、ことしは受験しても多分落ちると思うわ。一年浪人して、じっくり実力をつけて、来年にそなえたほうが賢いでエ」

私もまた本気でそう言った。話はあっさり決まった。私たちは親からももらった東京での宿泊費を伊豆の旅にまわすことにして、そのまま熱海で降りてしまったのだった。何とも親不孝な息子であった。そして ⑥ これが ⑦ 私の人生における最初の途中下車であった。私たちはいい気分で伊豆の温泉につかりながら、大仁のどこかにいるであろう美しい女子高生を思った。住所も電話番号も教えてもらっていたが、私たち

はその紙きれを見つめるだけで何もしなかった。三日後、いかにも試験を受けてきたような顔をして家に帰った。

それから半年たった頃、友人の父が死んだ。彼は家業の運送店を継ぐために、進学を断念した。

私はいえ、受験勉強などそっちのけで、小説ばかり読みあさっていた。だが二人の心の中から、列車で知り合った女子高生の面影は消えなかった。私たちは違ふとその話はかりしていた。彼女が京都の大学に受かったのかどうか気になって仕方なかった。ある日、ジャンケンで負けたほうが、彼女の実家に電話をかけようということになった。私が負けて、ダイヤルを回すと、ちょうど何かの用事で京都から帰って来ていた彼女が出てきた。無事試験に合格し、丸太町の親類の家に下宿しているのだという。

「ところで、あなた、二人のうちのどっち？」

と彼女が訊いたので、私はほんの冗談のつもりで、友人のほうの名を言った。しばらく考えてから彼女はこう囁いた。

「⑧」

私は黙りこくったまま、⑨電話をにぎりしめていた。そしてそのまま電話を切った。もっとうまい方法があった筈なのに、十八歳の私は打ちひしがれて、ほかにどうしていいのかわらなかつたのである。

「なあ、どうやった？ どない言うとった？」

友人は目を輝かせて何度も訊いた。私は嘘をついた。彼女は受験に失敗して勤めに出ている、もう電話などしないで欲しい、そう言つてガチャンと電話を切られたと説明した。

「ふうん、見事にふられたなあ」

友人はペロリと舌を出して笑った。

このことは、いつまでも私の中から消えなかった。生まれて初めての失恋が、私の心に傷を残したというのではない。⑩私は自分のついできた数多くの嘘の中で、この嘘だけを決して自分でも許すことができなかった。⑪私がいまそれを文章にできるのは、につぐき恋敵であるその友が、交通事故で死んでからもう十年もたったからである。

(宮本輝「途中下車」『新装版 二十歳の火影』(講談社文庫))

問1 — 線部①「様相は一変した」とありますが、それはどういうことですか。その説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア それまでおしゃべりが増えていたが、急におしゃべりが減ったこと。
- イ それまでは景色を眺めていたのに、突然女子高生に話しかけたこと。
- ウ それまで不安を抱いていたが、更に態度が落ち着かなくなったこと。
- エ それまで友人と二人でいたが、急遽女子高生がその間に座ったこと。

問2 ②・③・④・⑨に入れるのに最も適切なものを、次のア～カの中からそれぞれ一つ選び、その記号を答えなさい。ただし、同じ記号を二度以上使用しないこと。

- ア そっと イ さんざん ウ がんがん エ じっと オ ほっと カ だんだん

問3 傍線部⑤「まんざら」の意味として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 少しは イ まったく ウ 必ずや エ 必ずしも

問4 傍線部⑥「これ」が指し示す内容を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 目的地の三島まで行かず、途中の伊豆で列車を降りてしまったこと
- イ 目的地の京都まで行かず、途中の静岡で列車を降りてしまったこと
- ウ 目的地の東京まで行かず、途中の熱海で列車を降りてしまったこと
- エ 目的地の伊豆まで行かず、途中の東京で列車を降りてしまったこと

問5 — 線部⑦「私の人生における最初の途中下車」とありますが、それはどのようなことですか。「**自分の意思**」という言葉を必ず使って、「途中下車」がどのようなことをたとえたものであるのかがわかるように、五十字以内で答えなさい。

問6

㉘ にあてはまる最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 逢うのなら、もう一人の格好かっこういい人がいいな
- イ 逢いたくないので、もう電話をしてこないで
- ウ 逢うのなら、あなたたちと三人で逢いたいな
- エ 逢うのなら、あなたと二人だけで逢いたいな

問7

傍線部⑩「私は自分のついできた数多くの嘘の中で、この嘘だけを決して自分でも許すことができなかった」とありますが、「私」がそのように思っているのはなぜだと考えられますか。その理由として**明らかにあてはまらないもの**を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 「私」だけでなく友人もふられたということにした「私」の行為が卑劣だったから。
- イ 友人をだましたことを彼女に告白できなかった「私」は、不真面目だと思ったから。
- ウ 「私」がほんの冗談のつもりで言ったことで、二人が結ばれる縁がなくなつたから。
- エ 恋敵である友人が「私」の嘘も知らずに亡くなってしまったことが悔やまれるから。

問8

傍線部①「私がいまそれを文章にできるのは、につつき恋敵であるその友が、交通事故で死んでからもう十年もたったからである」とありますが、なぜ、「私」はこの話を文章にできるようになったのだと考えられますか。その理由として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 十年という月日の中で「私」は、自分の行ったことに伴う苦しみを受け入れることができたから。
- イ 十年という月日の中で「私」は、自分の行ったことへの罪悪感がすっかり消え去っていったから。
- ウ 十年という月日の中で「私」は、自分の行ったことからの苦難を受け流す精神力が備わったから。
- エ 十年という月日の中で「私」は、自分の行ったことを正当化するだけの理由を見つけられたから。

問9

本文を、内容的に大きく二つの段落に分けるとしたら、後半の段落はどこからか。その最初の五字を答えなさい。

三

次の各問いに答えなさい。

問1 次の各文の——線部のカタカナを、それぞれ漢字に直しなさい。

- ① メジャーリーグに移籍する意向をカタめている。
- ② 加工用ジャガイモのソウサンをはかる。
- ③ 台風イツカの青空が広がる。
- ④ ドバイには日本のシヨクザイを扱う専門店がいくつかある。
- ⑤ メールで各地に緊急連絡をハイシンする。

問2 表1の漢字を使って、表2のような対義語となるペアを作りたいと思います。
 □に漢字を当てはめるとしたら、①〜⑤に入る漢字は、それぞれ何か、答えなさい。

表1

格	美	変	因
光	主	結	単
客	容	複	新
形	利	旧	損

表2

原	①	⇔	□	果
内	□	⇔	②	式
③	純	⇔	□	雑
④	益	⇔	⑤	失

以下余白

